



埼玉県議会議員

武内まさふみ

たけうち

県政を身近に!

2013
平成25年
春季号

県政 報告

Vol.008

発行:埼玉県議会 自由民主党議員団

平成25年2月定例県議会

県議会は、2月20日から3月27日まで開催されました。平成25年度予算、条例、意見書など、知事提出議案81件、議員提出議案6件が可決・同意されました。

《ごあいさつ》

先の2月定例県議会で、平成25年度予算が可決されました。県政報告第8号では、新年度予算の中で採択が実現した越辺川(毛呂山町、越生町)の「川のまるごと再生プロジェクト」をはじめ、本年度の公共事業を紹介します。私は、本年度も引き続き、皆様が身近に感じられる県政をめざします。

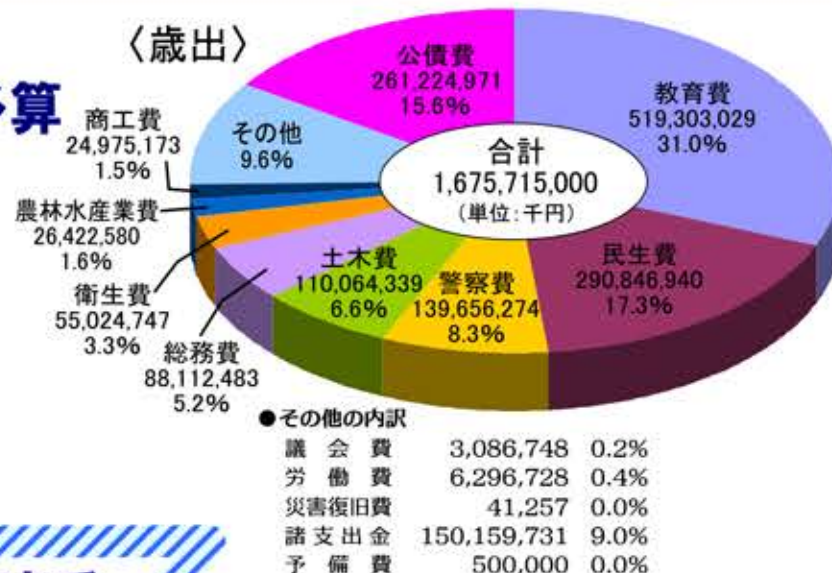
可決された主な議案

1 平成25年度一般会計予算

1兆6,757億1,500万円
(前年度比0.1%増)
公共事業は「13か月予算」により
前年度比23%増

我が国の最優先課題である「経済の再生」へ対応するために、県として、国の緊急経済対策を活用した13か月予算と通商産業政策の地方分権化を進めることとしました。また、公共事業は、国の緊急経済対策による2月補正予算と合わせた「13か月予算」で見ると、実質的に前年度比195億円と大幅な増となりました。

〈歳出〉



2 「川のまるごと再生事業」に越辺川が採択される

プロジェクト実施箇所図(案) (県資料より抜粋)



▲再生事業による遊歩道整備の例 ▲現在の越辺川(毛呂山町内)
越生町の梅林付近から毛呂山町苦林地区までの区間約16.8kmが、県の「川のまるごと再生プロジェクト」に採択され、新年度予算に盛り込まれました。平成25年から平成27年の3か年に渡る県事業で、町の周辺整備も合わせて行われます。これにより、越生から毛呂山までの越辺川周辺の再生と新たな賑わいが生まれると、期待されています。昨年8月以来、武内県議は、採択に向けて県への働きかけを行ってきました。その結果、越辺川を含め県内で4か所が選定されました。

3 「被保護者等住居・生活サービス提供事業の業務の適正化に関する条例」を可決

平成23年秋から自民党県議団のプロジェクトチーム(武内議員がメンバー)で検討してきた「被保護者等住居・生活サービス提供事業の業務の適正化等に関する条例」が可決されました。これにより、4人以下の無料低額宿泊施設についても、不適切な業務を規制できるようになります。罰則が盛り込まれた議員提案の条例は、本県で初めてです。

自民県議団が条例案提出

貧困ビジネス規制強化

小規模施設に適用拡大

埼玉新聞H25.3.5付

4 公の施設の利用における高齢者減免を廃止

県の収入確保対策の一環で、県立美術館や平和資料館など県の14施設の入場料や利用料で、65歳以上の方の減免制度がなくなりました。ただし、障がい者や低所得者に対する減免は今までどおりです。見直しによる増収見込み額は約3,900万円。▼県立近代美術館



県議会人事

県議会議長に細田徳治議員、副議長に松本恒夫議員が就任しました。
武内政文議員は、総務県民生活委員会及び自然再生・循環社会対策特別委員会に所属変更となりました。
【武内県議、総務県民生活委員会の副委員長に就任】



武内まさふみ県政調査事務所
〒350-0416埼玉県入間郡越生町越生895

TEL& FAX 049-292-2802

Email take9uch@tenor.ocn.ne.jp
URL http://www.takeutimasafumi.jp

皆様のご意見をお寄せください。掲載記事ならびに掲載画像の無断転載はご遠慮ください。

飯能県土整備事務所管内の平成25年度公共事業の予定



▲①柳田川溪流保全工(上野) 前年度に続いて2期工事

▲②越生長沢線道路改良(小杉) 24年度2月補正で前倒し執行



▲③砂防事業(黒岩、越小西側) 25年度は測量設計、用地補償



▲④春日橋橋脚補強(黒岩) 落橋防止装置の設置



▲⑦大谷木川(長瀬地区) 河川改修測量設計等



▲⑧飯能寄居バイパス舗装道整備(岩井西) 大型車の通行量が増え傷んだ面を補修

武内まさふみの活動日誌

2月

● **少子・高齢福祉対策特別委員会の視察 (2月25日)**
 (株)辻井製作所(川口市)は、従業員140人の企業で、工作機械や建設機械の部品などの鉄生産を行っている。定年は64歳で、65歳以降は本人が希望し、かつ会社が必要と認めた従業員を上限年齢の定めなく雇用。80歳以上の高齢者がいきいき働いている企業である。



3月

● **自衛隊大宮駐屯地(化学学校)の視察 (3月5日)**
 ▲00式個人用防護装備の前で ▲除染車によるデモンストレーション
 サリンなどの有害物質への危機対応を学ぶ化学学校を擁している。視察では、被害日本大震災で活躍した除染車によるデモンストレーションをはじめ、放射能測定器や防護服などについて説明があった。

● **越生駅の東口開設の要望 (JR高崎支社) (3月28日)**
 新井越生町長と共にJR高崎支社を訪問し、越生駅東口の開設をはじめJR八高線の活性化について、江藤尚志高崎支社長に要望した。

県道川越坂戸毛呂山線農協前の右折帯完成披露会(3月28日)

飯能県土整備事務所が披露会を開催。長年懸案だった渋滞が解消され、地域産業の活性化と観光振興に寄与するものと期待される。



▲武内県議会議員、井上毛呂山町長、堀江町議会議員など来賓によるくす玉割り



▲右折帯完成前の様子



▲右折帯完成後の様子